

部 局 経 営 方 針

平成22年度

薩摩川内市

部局名	総務部	部局長名	石走 直伸
-----	-----	------	-------

部局内の 経営資源	当初予算	68.7億円		
	構成人員	職員	嘱託	計
		127人	13人	140人

<p>①部局の使命 (組織の存在価値)</p>	<p>(1) シティセールスや雇用対策, 少子化対策ほか, 薩摩川内市の課題に挑戦する意欲と能力を持つとともに, 市民から信頼される職員を育成し, 効率的, 効果的な行政サービスを実現する。</p> <p>(2) 職員が元気で活気にあふれ, 良質な行政サービスが提供できる職場環境を実現する。</p> <p>(3) コスト意識を重視した事務事業の峻別, 限られた財政資源の効果的・効率的な配分等の継続的取組みにより, 自立性が高く持続可能な行財政基盤を確立する。</p> <p>(4) 公正・適正な課税, 厳正な収納対策, 公有財産の利活用等により歳入を確保する。</p> <p>(5) 公文書の適正管理と積極的な情報公開を推進し, 開かれた市政を目指すとともに, 条例・規則等の制定改廃に係る審査, 指導等を行い, 公平かつ適正な市政の執行に資する。</p>	<p>②組織目標像</p>	<p>【施策の目標像】</p> <p>(1) 職員人材育成基本方針に基づく事業推進により, 高い業務遂行意欲(挑戦と創造)と能力を備えた人材の育成及び各分野において, まちづくりの中心的役割を担う情報発信能力のある多様な人材の育成を図る仕組みができています。</p> <p>(2) 効率的予算編成・執行, 財務状況や運営コスト情報の公表等により健全な財政運営ができています。</p> <p>(3) 市税等の収納率向上と滞納処分の強化により歳入確保ができています。</p> <p>(4) 適正な公文書の管理を行うとともに, 市民に開かれた行政をする</p> <p>【組織の目標像】</p> <p>(1) 市民の夢の実現に向け, 創造と改革に挑戦できる職場環境になっている。</p> <p>(2) 経営感覚とプロ意識を持ち, 自ら考えぬき, 主体的に行動する職員の組織となっている。</p> <p>(3) 部内・課内の職員が一体となって, 公正かつ効率的行政サービスに対応できる組織となっている。</p> <p>(4) 情報公開・個人情報保護に関する市民との対応において, 職員が的確な対応, 判断ができています。</p>
-----------------------------	---	---------------	---

部 局 経 営 方 針

平成22年度

薩摩川内市

平成22年度の重点事項と目標達成に向けた主な取組内容

③重点事項	④具体的な成果目標（めざそう値）	⑤具体的な取組内容	⑥進捗状況（年度中間）	⑧年度末の達成状況
人材育成 【総務課】	(1)職員人材育成基本方針〔改訂版〕に基づく事業推進 (2)本市主催の研修の実施 (3)次世代育成支援特定事業主行動計画の実施	①新規採用職員職場指導員設置 ②サポーター制度の実施 ③本市独自の研修の充実 ④適切な人材配置 ⑤職場復帰回復訓練の充実・再教育制度の検討		
職員の健康増進 【総務課】	(1)病気休暇取得者数・病気休暇日数の減少【前年度比較】	①メンタルヘルス相談・研修 ②定期健診等を踏まえた健康指導		
人事評価制度の実施 【総務課】	(1)人事評価の実施	①全職員を対象に実施		
公文書の整理 【文書法制室】	(1)昨年度の本庁書庫に引き続き、本土4支所公文書の整理を終了	①緊急雇用創出事業臨時特例基金事業を導入し、実施		
持続可能な財政構造の確立 【財政課】	(1)健全で効率的な財政運営の推進	①財政推計の実施 ②収支改善策の具体化 ③財政運営指針の進行管理 ④特別会計・基金の整理 ⑤予算編成手法の検討		
指定管理者制度 【財産活用推進課】	(1)指定管理者制度の現行以上の理解と事務運営の円滑化	①募集広報 ②財務分析一括発注 ③指定管理者の住民広報		

部 局 経 営 方 針

薩摩川内市

平成22年度

未利用土地・建物(分譲団地含む) 処分 【財産活用推進課】	(1)販売目標 5区画：2,000万円 (2)未利用土地・建物 3,000万円 (年度末)	①市HP・新聞・住宅情報誌記事掲載 ②県宅地建物取引業協会との「購入者紹介に関する協定」に伴う斡旋依頼・協議 ③市分譲団地販売対策連絡会議の開催			
公有財産(土地・建物)仕分け 【財産活用推進課】	(1)1年目の仕分け対象財産の利用・処分の方針(案)決定 (2)利用・処分の方針(案)公表・市民意見の集約	①公有財産利活用検討委員会の開催 ②利活用方針(案)ホームページ等公表・意見集約			
効率的な車両管理 【財産活用推進課】	(1)稼働率：85%以上	①公用車集中管理の実施 ②支所公用車の調整			
国土調査終了に伴う納税者調査等(川内・東郷地域) 【税務課】	(1)旧地積から新地積へ移行(現地調査含む。) (2)新規納税者を特定 (3)平成23年度課税への反映	①対象筆の抽出 ②現況分割地等の現地調査 ③対象者の抽出 ④新規納税者の特定			
市税等の収納率向上と滞納処分の強化 【収納対策課】	(1)前年度収納率実績以上を目標	①電話・文書による早期催告 ②納税相談(個別面接による実情把握, 適正・公平な納税指導) ③滞納処分(差押・公売)			
⑦年度中間総括					
⑨年度末総括					